

就労継続支援A型に係る基本報酬の算定区分に関する届出書

事業所名		
人員配置区分	①. I型(7.5:1) 2. II型(10:1)	
定員区分	1 21人以上40人以下 2 41人以上60人以下 ③ 61人以上80人以下 4 81人以上 5 20人以下	
評価点区分	1 評価点が170点以上 ② 評価点が150点以上170点未満 3 評価点が130点以上150点未満 4 評価点が105点以上130点未満 5 評価点が80点以上105点未満 6 評価点が60点以上80点未満 7 評価点が60点未満 8 なし(経過措置対象)	
評価点の公表	インターネット利用	(公表場所) 社会福祉法人函館恵愛会HP (URL) https://keiaikai-m.com/credo/
	その他	

注1 厚生労働大臣が定める事項及び評価方法(令和3年厚生労働省告示第88号)に基づき評価点を算出すること。

なお、別添「就労継続支援A型事業所におけるスコア表(全体)」も併せて提出すること。

注2 評価点区分「なし(経過措置対象)」は、指定を受けてから1年度間を経過していない事業所が選択する。

注3 評価点の公表については、インターネットを利用した公表方法の場合は、公表場所と当該公表場所のURL等を、その他の方法による場合は、その公表方法を記載すること。

なお、公表していない場合は、減算となるので留意すること。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	社会福祉法人函館恵愛会 クレドホテル函館
住 所	函館市深堀町22-42
電話番号	0138-54-7878

事業所番号	0111402004
管理者名	高田 美和子
対象年度	7年度

(I) 労働時間		40 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		60 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方（※）		15 点
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
小計（注1）		点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(IV) 支援力向上（※）		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している	○	
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合：10点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	
期限内に提出していない場合：-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	150 点 / 200点
----	-----------------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間					
前年度（7年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	54,972	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	13,842	人
				利用者の1日の平均労働時間数	4.0
					時間
(Ⅱ) 生産活動					
会計期間（4月～3月）					
前々々年度（4年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	49,610,363	円	利用者に支払った賃金総額	46,186,364	円
				収支	3,423,999
					円
前々年度（5年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	55,342,253	円	利用者に支払った賃金総額	51,930,224	円
				収支	3,412,029
					円
前年度（6年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	72,196,058	円	利用者に支払った賃金総額	55,745,290	円
				収支	16,450,768
					円
(Ⅲ) 多様な働き方					
前年度（7年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）					
①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		②利用者を職員として登用する制度		③在宅勤務に係る労働条件及びサービス規律	
◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		◎利用者を職員として登用する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		◎在宅勤務に係る労働条件及びサービス規律に関する制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	
④フレックスタイム制に係る労働条件		⑤短時間勤務に係る労働条件		⑥時差出勤制度に係る労働条件	
◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている <input type="checkbox"/>		◎短時間勤務に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている <input checked="" type="checkbox"/>	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている <input checked="" type="checkbox"/>		◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている <input type="checkbox"/>			
(Ⅳ) 支援力向上					
前年度（7年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		②研修、学会等又は学会誌等において発表		③視察・実習の実施又は受け入れ	
◎研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/>		◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している <input checked="" type="checkbox"/>		◎先進的事業者の視察・実習の実施している <input checked="" type="checkbox"/>	
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 <input checked="" type="checkbox"/>		※研修、学会等名 八雲町自立支援協議会 就労支援支援の現状		もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている <input checked="" type="checkbox"/>	
※研修名 ノロウイルス予防対策講習		実施日 1月14日		※先進的事業者名 社会福祉法人南高愛隣会	
研修講師 市立函館保健所・函館食品衛生協会		※学会誌等名		実施日/参加者数 3月6日 3人	
実施日・受講者数 11月11日 30人		掲載日 月 日		※他の事業所名 八戸ワーク・ケア・函館厚生院・酪農公社	
		発表テーマ		実施日/参加者数 2月19日 6人	
④販路拡大の商談会等への参加		⑤職員の人事評価制度		⑥ピアサポーターの配置	
◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。 <input checked="" type="checkbox"/>		◎職員の人事評価制度を整備している <input checked="" type="checkbox"/>		◎ピアサポーターを配置している <input checked="" type="checkbox"/>	
◎商談会等名 印刷物の在宅作業商談会		◎当該人事評価制度を周知している <input checked="" type="checkbox"/>		◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している <input checked="" type="checkbox"/>	
※商談会等名 有限会社三和印刷		人事評価制度の制定日 7年4月1日		※配置期間 4月1日～3月31日	
日時 3月23日		人事評価制度の対象職員数 18名		就業時間 8:30～17:30	
内容 在宅勤務業者の袋折りやパソコンの封入作業について		うち昇給・昇格を行った者 18名		職務内容 利用者からの相談・アドバイス	
		当該人事評価制度の周知方法			
⑦第三者評価		⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等			
◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input type="checkbox"/>		◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/>			
※評価を受けた日 月 日		※認証を受けた日 月 日			
第三者評価機関		規格等の内容			
(Ⅵ) 経営改善計画					
◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 <input type="checkbox"/>					
※受理日 年 月 日					

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	クレドホテル函館
住 所	函館市深堀町 2 2 - 4 2
電話番号	0 1 3 8 - 5 4 - 7 8 7 8

事業所番号	111402004
管理者名	高田 美和子
対象年度	7年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：新函館農業協同組合 七飯営農センター ・大中山農産センター花卉共撰場</p> <p>実地日程：令和7年7月1日～令和7年9月30日</p> <p>実施した生産活動：カーネーション選別業務</p> <p>施設外就労の概要：令和元年10月より渡島振興局による農福連携取組に参加。実習体験を経て、福祉事業所とJAとのマッチングにて6年目のJA共撰作業に参加することになった。（2事業所合計利用者10名）</p> <p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい：企業側と福祉側それぞれの課題があり、双方が取組を通して農福連携について知ることができる。企業様のメリットとしては、繁忙期の人手不足解消や法定福利費のコスト削減となる。対象者（障がい者）にとってのメリットは、賃金向上や体面、企業の社員さんと一緒に働くことにより一般就労に近い環境</p> <p><成果></p> <p>実施した結果：令和7年度は経験者の他に新卒者も参加することができ、多くの利用者を受け入れて頂きました。暑い時期の為ファン付きベスト着用や、こまめな水分補給をしながら最終日まで作業することができました。得られた成果：農福連携による一般企業での作業実績を積み、今年度は5名が一般就労へ移行しました。今後の課題：暑さの影響もあるが、新卒者の集中力が続かず、選</p>	<p><活動の様子></p> <p>・農福連携最終日に利用者を代表し挨拶</p>  <p>・2事業所合わせて19名が選別作業を行いました</p> 
---	---





連携先の企業等の意見または評価

<p>【連携した結果に対する意見または評価】</p> <p>福)函館恵愛会との農福連携も6年目となり、利用者は10名以上の受入れを行い、それぞれの特性を考慮しながら作業配置を行いました。今年度は未経験者が多いことから、昨年度用に福)函館恵愛会のみでの体制にて作業を行いました。選別未経験の利用者が多くいましたが、経験者（2～3年）メンバーを指導や福)函館恵愛会職員のサポートもあり、選別作業は例年通り進められたと感じています。また、この農福連携の経験をした利用者が一般就労へ移行する事例も出ています。</p> <p>【今後の連携強化に向けた課題】</p> <p>農福連携強化の課題は、毎年選別経験のある利用者が少く、未経験者ばかりでは無い為、「未経験の利用者に合わせて働かせる」と「作業の見直しによる作業効率の向上」が引き続き必要であると感じている。また、今年度については、一般従業員（パート職員）に混ざり作業をする人数を増やしたいと考えております。そのためには、福)函館恵愛会とより密な連携を行い、円滑に進めていきたい。</p>			
連携先企業名	JA新はこだて七飯営農センター 生産施設課	担当者名	田代 慎太郎

労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告

事業所名	クレドホテル函館	事業所番号	111402004
住 所	函館市深堀町 22-42	管理者名	高田 美和子
電話番号	0138-54-7878	対象年度	7年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：クレドホテル談話室 実施日程：令和7年11月11日（火） 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要： ノロウイルス予防対策講習会を開催し、客室清掃、厨房業務、食品加工など日々の作業に必要なウイルスに関する基礎知識と、衛生的な手洗いについて研修 ブラッ</p> <p>利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい 利用者にとってのメリット 一般就労を目標とした訓練をやる中で、今後様々な業種で活用できる知識を身につけることができました。嘔吐物の処理の仕方やトイレの衛生管理、客室清掃時に注意する箇所などを学ぶことができました。</p> <p><成果></p> <p>実施した結果：講師の方よりコロナ終息後、手洗いや衛生管理がおろそかになっている傾向にあると話があり、ホテル専用のチェックリストを作成して頂きました。多くのお客様が触るドアノブや電気のスイッチなど菌を見落としがちな箇所について、しっかり除菌し感染を防ぐ事や、食中毒予防の基本である衛生的な手洗いを実践し、作業に取り</p>	<p><活動の様子></p>    
--	--

連携先の企業や事業所等の意見または評価

ノロウイルス予防対策講習会では、参加された利用者および社員の皆様が非常に真剣に取り組んでいる姿が印象的でした。講習内容をしっかりと理解しようとする姿勢や、衛生管理に対する意識の高さが感じられ、知識・能力の向上に向けた積極的な取り組みがなされていると評価いたします。今後もこのような機会を通じて、さらなる成長が期待されます。

連携先企業（担当者） 函館食品衛生協会 高畑 輝美

利用者からの意見・評価

いつもと同じように手洗いをして、ブラックライトに手をかざしたところ、洗い残しの箇所が青白く光った。手のひらだけでなく、指や手の甲、手首をしっかり2度洗いしないと食中毒の予防にならないと思った。